

2025年度 ちゅらま～み(腎)プロジェクト NEWS LETTER

発行元:うるま市・沖縄市 ちゅらま～み(腎)プロジェクト
(CKD・糖尿病性腎臓病予防にむけた病診連携登録医事業)事務局

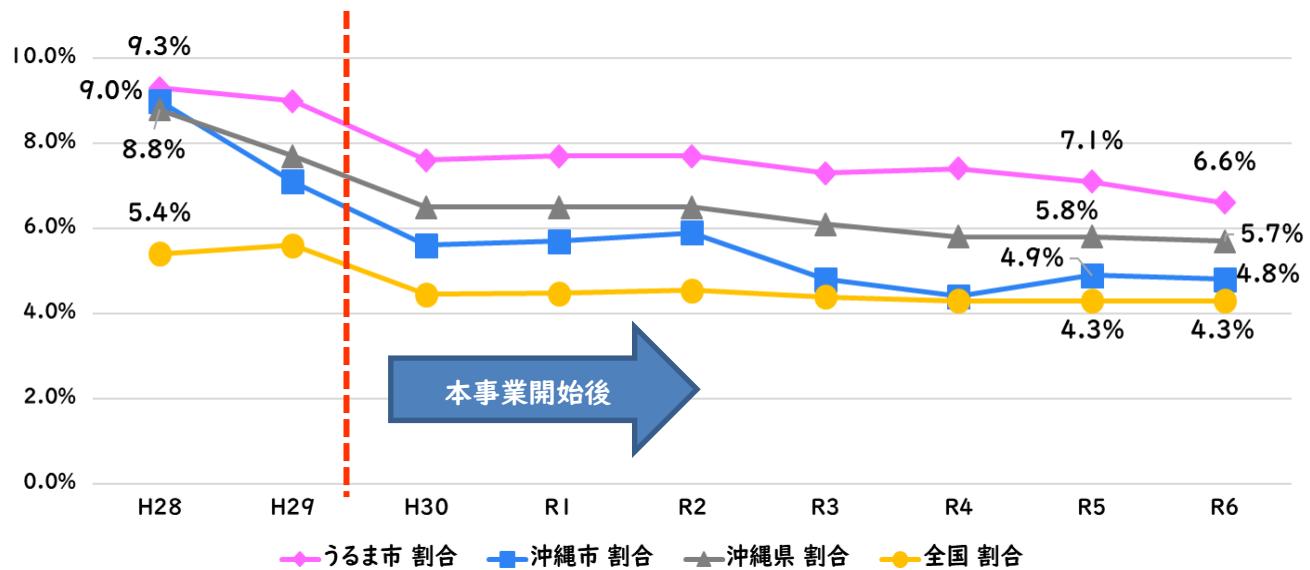
第
12
号

令和7年11月発行



国保医療費に占める人工透析医療費の割合

下のグラフは、国保医療費に占める人工透析の割合を、うるま市・沖縄市・沖縄県・全国と経年比較で示しています。両市ともに事業開始前と比較して、少しずつではありますが、着実に減少傾向にあります。これも、日々診療を行っている先生方のご尽力によるものを感じております。



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6									
うるま市	金額 1,030,725,270	割合 9.3%	980,339,310	9.0%	811,378,040	7.6%	844,194,150	7.7%	813,788,800	7.7%	811,805,600	7.3%	801,787,790	7.4%	779,236,700	7.1%	727,656,770	6.6%
沖縄市	金額 994,598,980	割合 9.0%	768,424,750	7.1%	594,091,380	5.6%	614,849,550	5.7%	634,319,510	5.9%	547,815,290	4.8%	507,897,120	4.4%	552,177,790	4.9%	550,783,360	4.8%
沖縄県	金額 10,641,066,900	割合 8.8%	9,281,552,410	7.7%	7,661,053,990	6.5%	7,820,701,420	6.5%	7,612,086,880	6.5%	7,457,612,930	6.1%	7,157,345,350	5.8%	7,012,268,750	5.8%	6,884,229,590	5.7%
全国	金額 526,441,248,050	割合 5.4%	540,384,456,850	5.6%	424,299,266,360	4.4%	424,594,732,560	4.5%	413,139,989,690	4.5%	413,256,068,080	4.4%	397,754,600,700	4.3%	389,199,871,940	4.3%	381,755,835,160	4.3%

出典：国保データベースシステム、H28～R6 年度医療費分析（2）大 中 細小分類より作成



登録医数・医療機関数の状況

本事業にご登録いただいている医師は、CKD 登録医44名、腎臓診療医9名の合計53名となっております。
また、登録医療機関は34か所にご登録いただいております。

CKD 登録医	44
腎診療医	9
計	53

令和7年5月末時点



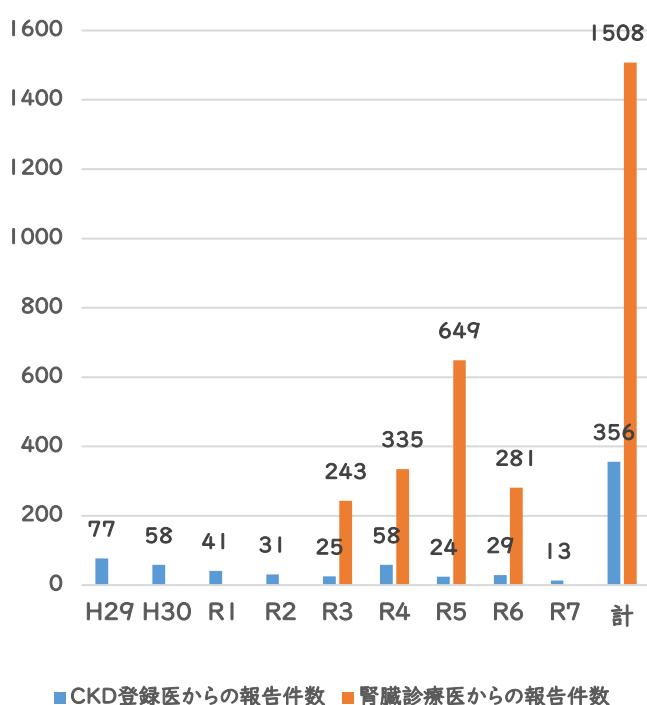
登録医療機関数
34機関



CKD 登録医から腎臓診療医への紹介報告件数

③

事業開始からR7年8月末時点の報告件数は、CKD登録医から356件、腎臓診療医から1,508件となっております。CKD登録医から腎臓診療医へ多くの患者様をご紹介している状況がうかがえました。
ご多忙の中、紹介件数のご報告にご協力いただいておりまこと、心より感謝申し上げます。



(件)	CKD登録医からの報告	腎臓診療医からの報告
中部病院	138	1150
中頭病院	211	319
すながわ内科	6	21
安立医院	1	3
しおひら内科・腎クリニック	0	15
計	356	1508

※腎専門医には2回/年報告依頼実施

※登録医及び腎臓診療医からの報告には、同一ケースが含まれる可能性がある



CKD 登録医から腎臓診療医への紹介: 報告方法の変更について

④

CKD登録医から腎臓診療医への紹介件数の把握につきましては、本事業の病診連携が機能していることを評価する重要な指標となっております。これまでFAXにて報告をいたしましたが、医療機関様の負担を軽減するため、従来の方法に加えオンラインでの報告も追加いたします。

変更前(FAXにて報告)

The form consists of two pages. The left page contains a large table for patient information (name, date of birth, gender, etc.) with several checkboxes for medical history and treatment. The right page is a summary section with fields for address, telephone number, and a note area.

変更後(FAXまたはオンライン報告)

同封しております
「CKD・糖尿病登録医(かかりつけ医)の皆さまへご協力願い(ご依頼)」及び
「Logo フォームマニュアル」をご覧いただけますようお願いいたします。

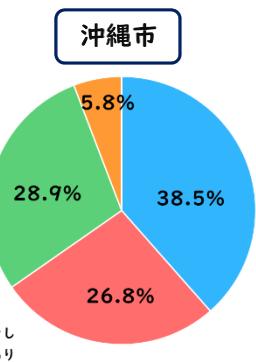
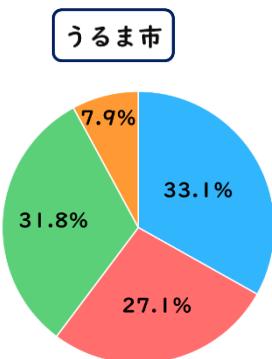
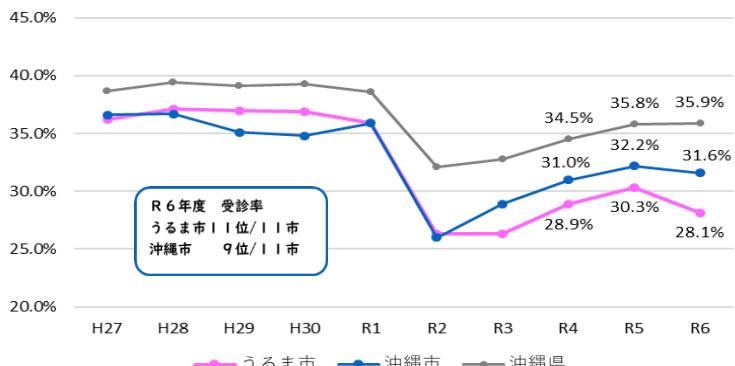
二次元バーコードを読み込むとアンケート様式に繋がります。すべて選択式となっており、30秒ほどで入力ができるようになっております。

お忙しい中恐縮ですが、紹介件数の報告につきまして、引き続きご協力のほどお願ひ申し上げます。



特定健診受診率

出典)国保連合会 R6年度特定健診受診率・特定保健指導実施率(速報値)
キャンサースキャン(R5年度うるま市・沖縄市 特定健診分析結果)



R6年度の特定健診受診率は、うるま市 28.1% (11位/11市)、沖縄市 31.6% (9位/11市)でした。R6年度の速報値では、両市ともに前年度より低下しておりました。

右の円グラフは、R5年度の特定健診対象者となった者で、過去3年間の健診受診回数をみると、両市ともに約30%の対象者が医療・健診未受診の状態であり(ピンクの部分)、約30%の対象者が医療受診はありますが健診は未受診の状態(みどりの部分)となっております。

両市ともに健診の受診率が低い状況であることから、この30%の健診未受診者を受診に繋げる取り組みが、引き続きの課題となっております。

✿医療機関様におきまして、通院している患者様へ健診受診のお声かけを実施いただけますと幸いです✿



健診結果に基づく受診勧奨件数(令和2年度～令和6年度)

健診結果で、下記の基準を満たす方に受診勧奨を実施しました。

※R6年度は実施途中のため、参考値となります。

紹介基準 要医療判定 ●eGFR45未満 ●尿蛋白(1+)以上 ●尿潜血(2+)以上 ●尿蛋白2年連続(±)

うるま市

沖縄市

	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度			R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度											
	CKD 登録医	腎 診療医		CKD 登録医	腎 診療医																										
対象者	245	217	28	238	210	28	223	182	41	235	193	42	164	139	25	対象者	258	237	21	295	270	25	321	293	28	272	256	16	269	249	20
受診勧奨者	165	139	26	181	162	19	187	153	34	203	166	37	133	114	19	受診勧奨者	226	207	19	246	225	21	290	262	28	235	220	15	235	216	19
介入率	67.3%	64.0%	92.9%	76.1%	77.1%	67.9%	83.9%	84.1%	82.9%	86.4%	86.0%	88.1%	81.1%	82.0%	76.0%	介入率	87.6%	87.3%	90.5%	83.4%	83.3%	84.0%	90.3%	89.4%	100%	86.4%	85.9%	93.8%	87.4%	86.7%	95%
医療受診者	90	71	19	124	109	15	132	104	28	139	109	30	83	69	14	医療受診者	136	123	13	137	122	15	161	142	19	116	103	13	125	111	14
受診率	54.5%	51.1%	73.1%	68.5%	67.3%	78.9%	70.6%	68	82.4%	68.5%	65.7%	81.1%	62.4%	60.5%	73.7%	受診率	59.9%	59.1%	68.4%	55.7%	54.2%	71.4%	55.5%	54.2%	67.9%	49.4%	46.8%	86.7%	53.2%	51.4%	73.7%

●R6年度の受診勧奨介入率は、うるま市が81.1%、沖縄市が87.4%で、うるま市は経年に向上、沖縄市は年度により増減しています。

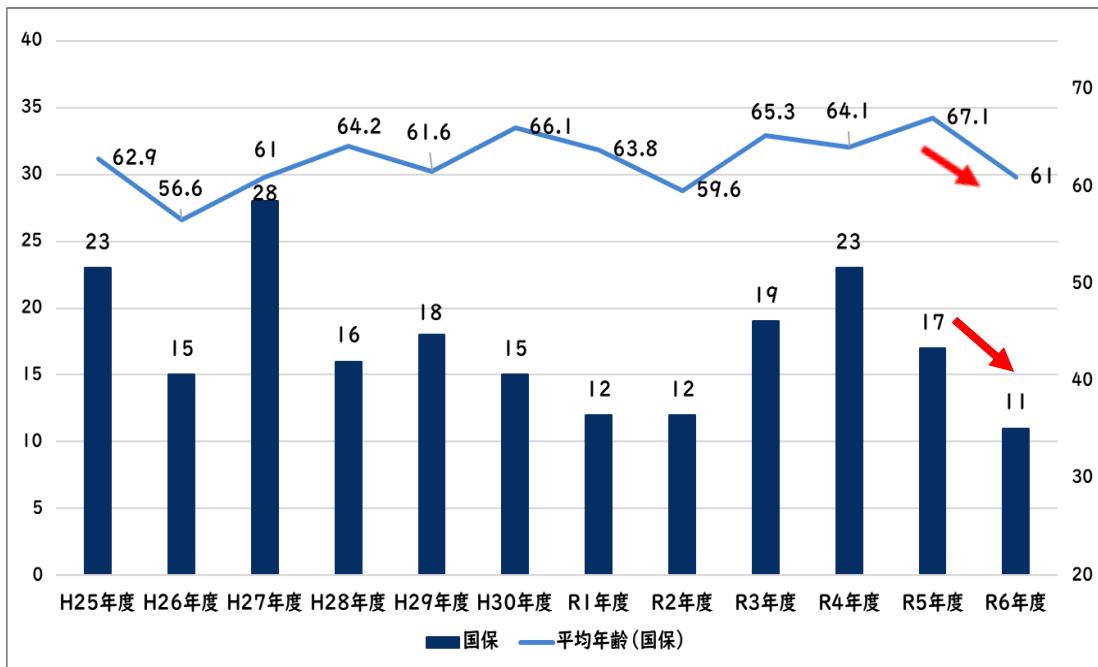
●介入後の精査受診率はうるま市が62.4%、沖縄市が53.2%となっています。



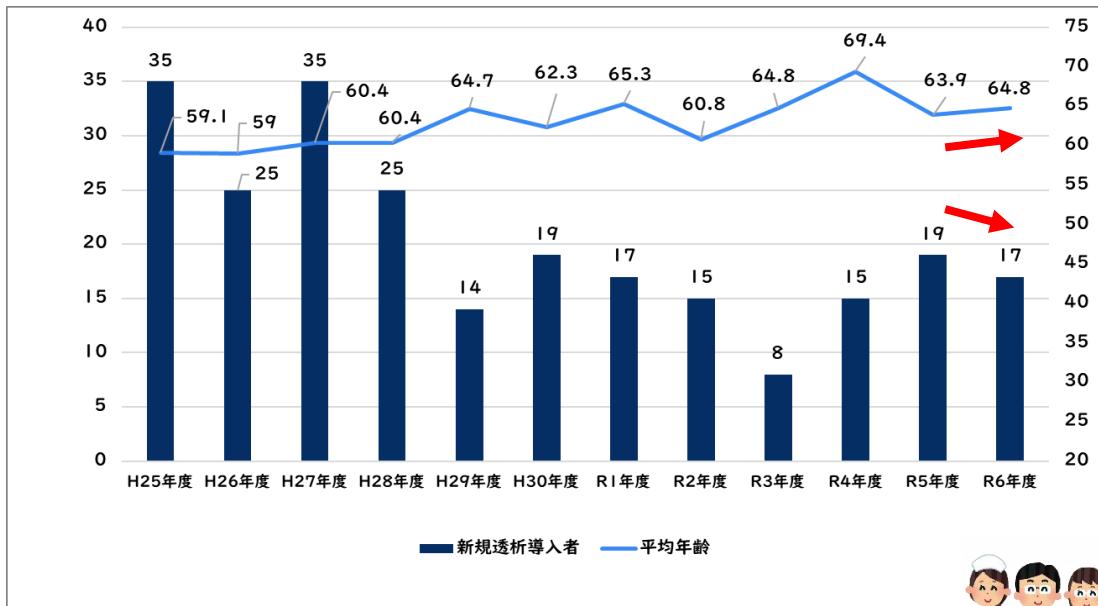
人工透析導入者の状況について（国保・74歳以下）

●人工透析導入患者と導入平均年齢の推移 (うるま市)

出典：更生医療・国保・後期レセプト



(沖縄市)



こちらは、国保加入者で新規人工透析患者数と導入平均年齢の推移となっております。

(R6年度は、更生医療のデータがまだ反映されていないため、今後変動する可能性があります。)

R6年度の新規人工透析導入者は、うるま市11名、沖縄市17名となっており、両市ともに前年度と比べて減少しています。

また、導入平均年齢はうるま市が6.1歳短縮し悪化、沖縄市は0.9歳延伸しほぼ横ばいとなっております。



令和7年度事業報告(R7.4月～9月)

基幹病院におけるちゅらま～み(腎)プロジェクト情報交換会 in 中部病院



今年度のスタートとして、本事業の共有を図ることを目的に、沖縄県立中部病院にて、すながわ内科クリニック院長 砂川博司先生より、尿検査の重要性と多職種連携の必要性についてご講話いただきました。

朝早い時間の開催でしたが、ご講話いただいた砂川先生、ご参加いただきました皆さん、お忙しい中ありがとうございました。



コメディカル向け講演会

社会医療法人敬愛会 中頭病院 薬剤部から木奈崎 昭男先生をお招きし、「中頭病院における保存期 CKD 患者への薬剤師の介入内容」をテーマにご講演いただきました。

講演では、病院内での腎臓教室の取り組み、薬の基礎知識、CKD 患者の鎮痛薬の選択について、注意する副作用等についてご教示いただきました。参加者は24名（保健師2名、看護師4名、管理栄養士10名、薬剤師5名、その他3名）でした。



登録説明会・講演会 (中部地区医師会+ZOOM ハイブリッド開催)



今年度は、『CKD 地域連携の目指す姿 総合病院の立場から』と題し、沖縄県立中部病院腎臓内科 照屋周造先生よりご講演いただきました。本講演内容のポイントとして「降圧、減塩、禁煙」の指導、CKD ステージ別のフォローアップ、患者様とのコミュニケーション例の紹介等についてご教示いただきました。

参加者は47名（CKD・糖尿病性腎臓病登録医10名、登録外医師11名、コメディカル16名、その他10名）でした。



病診連携推進・評価委員会 報告

令和7年度第1回目の評価委員会を開催し、事業の経過や事業評価報告を実施しました。
また、うるま市による「ICT 技術を用いた予防医療体制構築事業」について概要説明を行いました。

●協議事項

- ・CKD 登録医から腎専門医への紹介件数:報告方法について
前述しました通り、報告方法に変更がございます。

9/21
CKD

うるま市・中部地区予防医療事業コンソーシアム連携協定

うるま市及び中部地区医療コンソーシアム(幹事企業:株式会社 OCC・構成員:一般社団法人中部地区医師会)は、ICT 技術を活用した予防医療体制構築事業をうるま市内にて展開するにあたり、連携協定を締結しました。

事業概要:本事業は、下記の 3 つの事業を軸に進められます

- ① 特定健診未受診者に対する疾病リスク予測検査の実施及びコンシェルジュによる健康相談
- ② CKD ビジュアルシステムを活用した CKD ハイリスク者の新たな抽出方法の確立と効果的な保健指導
- ③ 腎臓専門医(スーパーバイザー)によるオーダーメイド治療計画案の提供



プレスリリース、事業概要、事業概要説明については、
下記の QR コード、URL より御覧いただけます。

(URL) <https://www.occ.co.jp/202509-6645/>



通年
CKD

市民向け情報発信について

レシピ検索サイト「cookpad」を活用し減塩レシピの紹介等を実施しています。

うるま市

476レシピ掲載
(R7.7月時点)

207万アクセス

沖縄市

598レシピ掲載
(R7.7月時点)

211万アクセス

●市ホームページに専用ページ

- ・検査値、腎臓を守るポイント
- ・うるま市民の塩分摂取状況
(平均値の推移)
- ・減塩の必要性

●市公式 HP・LINE に掲載

- ・「減塩の日」毎月 17 日
- 減塩に関するミニ情報を発信
- ・クックパッド更新時に通知

●市ホームページに専用ページ

- ・紹介様式、登録医リストなど掲載

●市 SNS (LINE、Facebook) に掲載

- ・世界腎臓デー
- ・世界高血圧デー
- ・おきはくんウォーキングアプリを活用した周知など





推定一日食塩摂取量検査について【沖縄市】

別冊

●保健指導後の **二次健診** 受診者に実施。

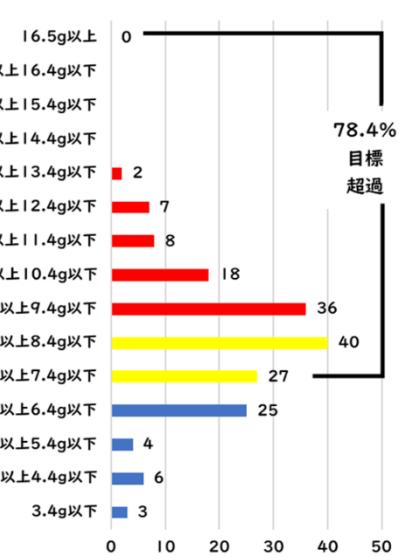
【R5年度 418名(男性 242名、女性 176名)】

※R6年度は実施途中の為、次回のニュースレター等で改めてお知らせします。

図1) R5年度受診者(男性 242名)の推定塩分摂取量



図2) R5年度受診者(女性 176名)の推定塩分摂取量



●R2-R5年度の推定食塩摂取量(男女別)

図3) 男女別平均値の推移(19~74歳)



※グラフの点線は、食事摂取基準 2020 の塩分摂取目標量より

主な
傾向

R5年度受診者の推定食塩摂取量を男女別で見ると(図1、図2)、男性は65%、女性は78%目標値を超過していました。

R2-R5年度の比較(図3)では、男女ともに摂取量の目標値を上回っています。

R4-R5年度連続して検査を受診した者の比較(図4)では、食塩摂取が減少群(-20%以上減)13名(14.6%)で、そのうち、改善が大きかったケースの特徴として、減塩調味料の利用、おやつをスナック菓子から豆類に変えるなどの工夫をしている、魚・野菜を増やし、白米から玄米へ変更することで体重・腹囲も改善したケースがありました。

●R4-R5年度に、連続して食塩摂取量検査を行った者(89名)を比較してみました【図4】

図4) R3-R4年度継続受診者(89名)の変化率

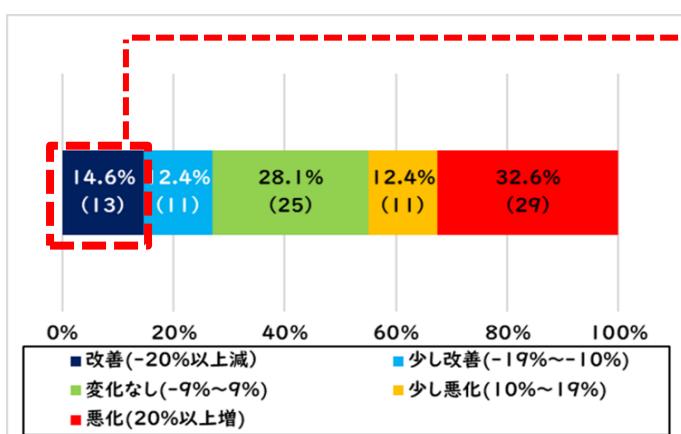
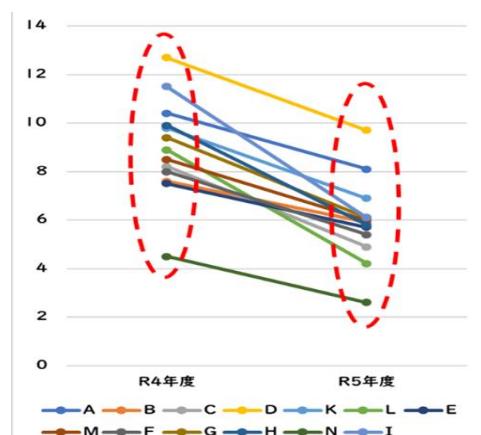


図4-①) 減少群の13名の変化

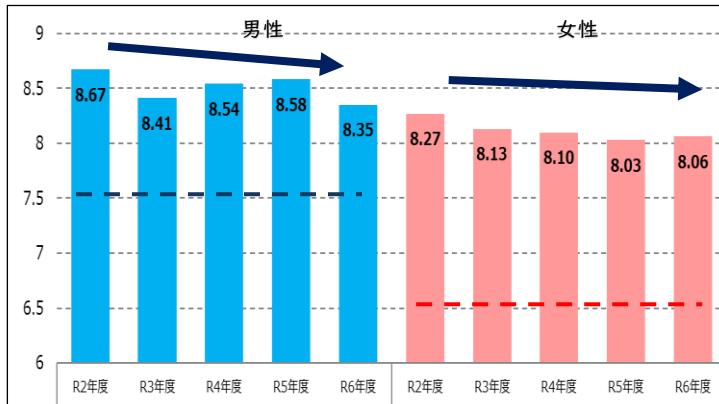


推定一日食塩摂取量検査について【うるま市】

●集団健診受診者 に実施。【R6年度 3,677名(男性 1,689名、女性 1,899名)】

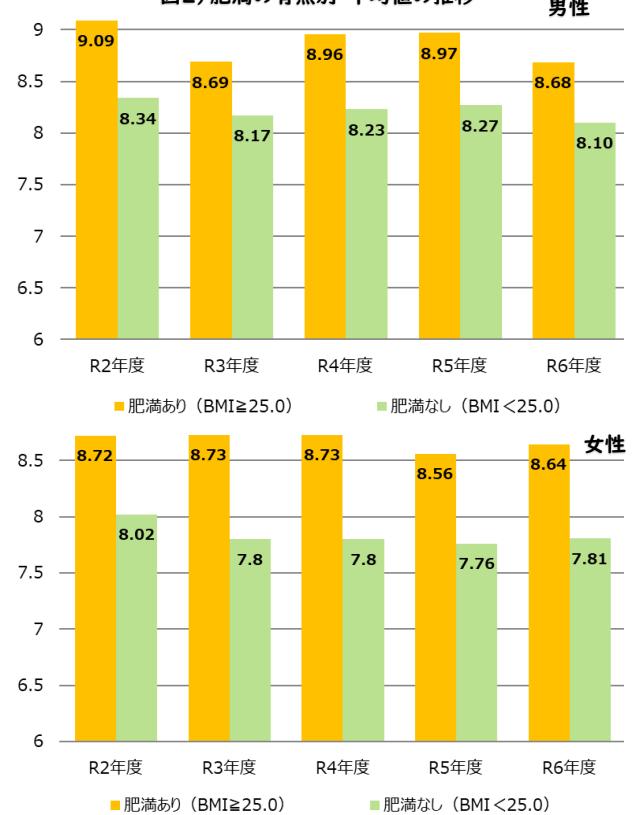
※R6年度は実施途中のため、次回のニュースレター等で改めてお知らせします。

図1)男女別平均値の推移



※グラフの点線は、食事摂取基準 2020 の塩分摂取目標量より

図2) 肥満の有無別 平均値の推移



●R5-R6年度 2年連続で食塩摂取量検査を受けた者(2,079名)を比較してみました。【図3】

図3) R5年度と比べて、R6年度の変化別(減少-変化なし-増加など)の割合

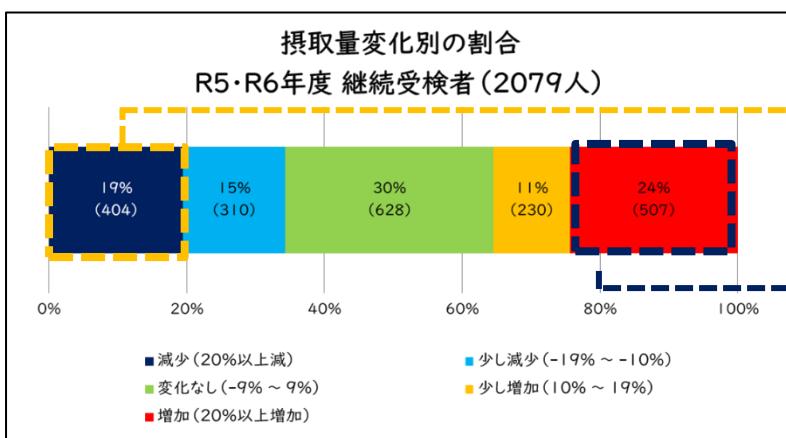


図4) 減少群と増加群における血圧変化 (R5年度推定食塩摂取量 8.0g以上の群)

表1)

塩分摂取20%以上減少群 (n=682)

	改善	維持	悪化
収縮期 血圧	35% (140)	43% (172)	23% (92)
拡張期 血圧	23% (91)	64% (258)	14% (55)

表2)

塩分摂取20%以上増加群 (n=821)

	改善	維持	悪化
収縮期 血圧	18% (89)	47% (238)	36% (180)
拡張期 血圧	10% (53)	64% (325)	25% (129)

主な

傾向 男女別で推定食塩摂取量検査(図1)を見ると R6年度は男性 8.35g、女性 8.06g と、目標値は超えていますが、女性は横ばい、男性は年々減少傾向です。肥満の有無別(図2)を見ると、男性は肥満あり・なしともに減少傾向、女性はR5年度まで減少傾向でしたがR6年度は増加傾向です。

R5-R6年度の継続受診者(図3)のうち、減少群(20%以上減少。表1)では、増加群(20%以上増加。表2)と比べて収縮期血圧・拡張期血圧の改善率が約2倍近く高く、悪化率も低い傾向がみられました。

今後も引き続き、集団健診での推定食塩摂取量検査を継続し、市民の減塩意識を促す取り組みを行っていきます。